

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和 4 年 10 月 18 日（火）午後 7 時～8 時 30 分
場 所 駒林会館（駒林自治会）
参加者 32 人



主な意見等

参加者 長引くマスク生活で子どもの健康が心配です。口呼吸や会話の減少は、骨格の成長に影響するのではないのでしょうか。給食のメニューを咀嚼が増えるものにするなど、市として何か対策はできませんか。

市 長 子どものマスク着用については、多くの保護者からご意見をいただいているところです。成長期の子供たちに与える影響は一定程度あると考えていますので、咀嚼を増やすメニューというのは素晴らしいご提案だと思います。

参加者 体育の授業中や気温が高い日もマスクを着用している子どもが見受けられますが、マスク着脱の判断について教育現場ではどのように指導していますか。

市 長 マスク着脱の判断については、文部科学省や埼玉県教育局が示す内容に沿って指導していますが、ご家庭ごとの考えもありますから、一律に「こうしましょう」と統一することは難しいのが現状です。本日いただいたご意見を教育委員会に伝えるとともに、今後も国の方針を注視していきます。

- 参加者 特別支援学級で、子どもに対して配慮に欠けた対応をする職員を見かけました。どうか暖かい対応をお願いします。
- 市 長 教育現場では子どもに寄り添った対応が必要であると思います。いただいたご意見は教育委員会に伝えます。
- 参加者 ふじみ野市内に、無症状者を対象とした無料のＰＣＲ検査場はありますか。
- 市 長 ふじみ野市内にはありません。近隣では川越市に、埼玉県が設置した無料検査場があります。オミクロン株は感染力が強く、検査結果が陰性だとしても翌日に発症することもありますから、単に検査数を増やすということは国も県も市も推進はしておりません。なお、東入間医師会に埼玉県のコロナ関連の理事をされている医師がいらっしゃいまして、ふじみ野市のアドバイザーになっていただいています。市内で感染が拡大した際は、この方のアドバイスに沿って対策を実施しています。
- 参加者 ふじみ野ステラ・イーストとふじみ野ステラ・ウェストのどちらにもホールがありますが、なぜ市内に２つのホールが必要なのでしょう。
- 市 長 本市は２市町が合併したことにより、文化施設だけでなく市庁舎や図書館なども２つずつありますが、合併以前からお住まいの方の思いを考慮すると、一方に統合するのは難しいのが現状です。仮に市内の中心地に集約するとしても、用地確保は難しいと思われます。東日本大震災以降の耐震基準に不適合な施設が残存していたこともあり、統合ではなく既存の施設を建て替えて活用していくことといたしました。なお、ステラ・イーストは３００席、ステラ・ウェストは８００席と、ホールの規模を異なるものにしていますので、用途に応じて使い分けができると考えています。
- 参加者 ふじみ野ステラ・イーストとふじみ野ステラ・ウェストの維持管理費はいくらかかるのか教えてください。

市 長 維持管理費については、本日は細かい金額を持参しておりませんが、ノウハウを持った外部企業にＤＢＯ（維持管理業務委託）をすることで、効果的な運用ができると見込んでいます。懸念点はホールの稼働率ですが、ふじみ野市在住のアーティストへ支援を行うことで、市民の皆さまが文化芸術に触れる機会を増やしていきたいと考えています。

参加者 ふじみ野市はごみの少ない街県内１位ということですが、ゼロカーボンシティを実現するために、ごみの排出量を減らすこと以外の構想はありますか。

市 長 まずゼロカーボンシティ宣言についてですが、これはＣＯ２の排出を一切無くすということではなく、再生エネルギーを利用することで排出量と相殺し、実質ゼロを目指していくものです。具体的には、太陽光発電の利用や市役所での電気自動車の導入などを検討しています。また、１０月に東京ガス株式会社、武州ガス株式会社とカーボンニュートラルシティ実現に向けた包括連携協定を結んだところです。早速、２社から色々なご提案をいただいていますので、市民の皆さまにもご協力をいただきながら進めてまいります。

参加者 ２５４バイパスへの企業誘致について、企業が決定しているか、どれくらいの税収や雇用の確保が見込めるのか教えてください。

市 長 企業は決定しており、固定資産税と法人市民税の増を見込んでいます。雇用は７００人規模と聞いています。

参加者 ２５４バイパスのように市街地化が進むと、緑地が減少すると思いますが、ふじみ野市全体の緑地保全についてどのように考えていますか。例えば、大井プールのような廃止施設の跡地を活用して緑地を増やすことは可能ですか。

市 長 緑地保全については国の基準に沿う形で実施していきたいと考えています。近年中の施策としては、大井弁天の森を特別緑地保全地区に指定し、市が購入・保全していく予定です。大井プールの跡地は現在弓

道場になっていますが、従前より緑地は増えております。

参加者 さぎの森小学校の通学路の横断歩道に押しボタンを付けて欲しいです。20年前から要望しています。

市 長 市としても埼玉県警に要望済ではありますが、引き続き要望して参ります。市民の皆さまの見守りに感謝いたします。

参加者 駒林自治会1634世帯のうち、駒西小学校の投票区が1,524世帯に対し花の木中学校の投票区が110世帯と少ないため、選挙の度に立合人の選任に苦慮しています。何か方法はないでしょうか。

市 長 方法を検討いたします。

参加者 コロナ禍におけるBCP（業務継続計画）について、市役所でのテレワーク実施状況と、市長が新型コロナウイルスに感染した際の対応を教えてください。

市 長 職員については、住民情報など外部に持ち出せない帳票が多いことから、分散勤務やサテライトオフィスの設置などで可能な限りの対策をとってきました。市長が感染した場合は、副市長の職務代理が法的に認められておりますが、軽症であればテレワークで業務を継続することも可能と考えます。

参加者 マイナンバーカードの普及を促進するならば、印鑑証明の機能を付けるなど、もっと利便性を向上させれば良いのではないのでしょうか。

市 長 ご提案のとおりだと思います。印鑑証明機能の追加については国に裁量がありますので、市が実施することは難しい状況ですが、利便性の向上は国に推し進めてもらいたいと思っています。なお、ふじみ野市は埼玉県内でもマイナンバーカード普及率が高い自治体となっております。

参加者 タウンミーティングのオンライン化は検討していますか。

市 長 タウンミーティングは、こうして市民の皆さまと直接向き合ってお話ししたいというのが市長就任以来の想いです。貴重なご意見をお聞きし、時にはお叱りを受けることもあります。足を運んで膝を突き合わせ、生の声を聞きたいと思っています。ただ、オンラインで実施することも方法としては可能ですので、今後感染が拡大した際は検討させていただければと思います。

参加者 ふじみ野市こどもの未来を育む条例は、ユニセフの子どもの権利条約と連携したのですか。

市 長 連携はしていませんが、考え方の根底にはあります。

参加者 マスク着脱の例のように、子どもの健康面に影響するものについては子ども個人の意見を尊重してほしいと思います。例えば学校でアンケートを取るなど、子どもの意見を聞く方法についてPTAや教育委員会で検討していただきたいです。

市 長 子どもの考えを知り尊重することは重要であると考えます。一方で、学校の現場において全員の意見を統一することは難しいのも現状です。この感染症を国家として乗り越えていくためには一定のルールが必要ですので、市としての方向性は示しつつ、子どもや各ご家庭の考えの多様性も受け止めていくことが私たちの務めだと思っています。